

常任委員会の審査概要（委員長報告の抜粋）

総務委員会

本委員会が付託を受けた2議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。

冒頭、9月9日に発生した長江1丁目及び尾崎本町の密集地火災に関する報告を消防局長より受け、それに対する質疑、意見、要望が4名の委員からありました。

議案の審査では、議案第122号に関わり、市営駐車場の使用料規定のうち、24時間ごとに2,470円は高額ではないかただしに対し、来庁者用を目的とした駐車場であり、来庁された方の迷惑にならないよう、長時間の駐車を控えていただくために、周辺駐車場の料金も考慮して設定していると答弁がありました。

次に、議案第109号に関わって、地方交付税と臨時財政対策債の増減補正の要因、本年度地方交付税に算入されている臨時財政対策債の元利償還金の額、これまでの同対策債の累計額をただしに対し、それぞれ本年7月に県からあった決定通知に基づいての補正であること、約19億2,800万円、約276億7,000万円であると答弁がありました。

民生委員会

本委員会が付託を受けた6議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。

議案の審査では、繰越金計上時期については、9月は、前年度事業精算に伴う国・県への返還金計上、12月は、保険料等の剰余部分について計上と答弁、子育て世代包括支援センター「ぼかぼか★東尾道」の開設については、ベイタウン尾道組合館内に設置されることなど概要が説明されました。

公立みつぎ総合病院と市民病院の電子カルテシステムの統合は、病院の機能が違い、現段階では難しいと、みつぎ病院7床を回復期リハビリテーション病床へ転換する理由は、尾三圏域で回復期病床が平成37年に726床不足するため、（仮称）向東認定こども園整備事業費補正理由は、入札中止、建築面積の増加等であると答弁がありました。

その他、公立みつぎ総合病院について、病床工事等の受注者が市内業者であるか、会計の自動支払機導入時期等質疑がありました。

議案以外では、尾道市の自殺死亡率、自死遺族等へのケア、国保制度改革を少子化対策充実に結びつけること、市民病院分娩休止の再検討、特別養護老人ホームの増設について質疑がありました。

文教委員会

本委員会が付託を受けた1議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。

議案の審査では、学校給食調理等業務の委託契約の更新にかかる債務負担行為の概要、小中学校の就学援助費（新入学児童・生徒の学用品費）の増額と支給時期を早めること、トイレ洋式化改修設計委託料の概要に対する質疑・意見・要望があり、それぞれ答弁がありました。

議案以外では、全国学力・学習状況調査の結果の本市の状況、学校選択制の問題点、地域と学校の協働活動とその実績、主体的に学ぶ意欲のある児童・生徒を育てるための教員の取り組み、電子メディア対策推進事業の具体的な活動内容、東京オリンピックのメキシコ選手団の合宿受け入れと地域との継続的な交流、幼稚園の空き教室を放課後児童クラブとして利用すること、市民が利用しやすい公民館施設のあり方、スポーツ施設の予約方法の利便性向上、小中学校の各教室へのエアコン設置率と本市の状況について質疑・意見・要望があり、それぞれ答弁がありました。

産業建設委員会

本委員会が付託を受けた6議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。

議案の審査では、大原交差点の改良工事の内容と年次計画、渋滞時の交通ルールの啓発、工事内容の地元住民への情報提供、大原南交差点信号の改良、青影バイパス工事での市の役割、中野ダムの概要、農業水利施設個別施設計画の策定期と策定後の取り組み、新規就農者・後継者育成の取り組み、森づくり事業の概要と積極的な活用、尾道駅新駅舎の概要、駅周辺公共空間活用整備検討の内容と官民連携への期待、高西東新涯ポンプ場建設工事の内容と今後の予定、通学路の安全確保と公安委員会との連携について質疑、意見、要望があり、それぞれ答弁がありました。

議案以外では、空き家の実態調査と今後の取り組み、農道市道改良要望への対応、尾道城への行政の関与と議会への説明の有り方、ふるさと甲子園グランプリ受賞、豪雨被害の復旧と議会対応について質疑、意見、要望があり、それぞれ答弁がありました。